



一歩前進。

～広域一般廃棄物処理施設建設への道～

伊豆の国市・伊豆市では広域一般廃棄物処理施設の建設に向け、皆さんの声を聞きながら、一歩一歩、進めています。
今回は、建設候補地の公募結果、一次選定結果などをお知らせします。

市役所新ごみ処理施設整備課 (葦山庁舎内)
☎ 055-949-8112

建設候補地 一次選定までの動き

二市では、多くの市民に関心を持っていただき、また、地域の理解を最大限尊重し、市民と行政との協働に重点を置いた選定を行うため、建設候補地を公募しました。
結果、4つの地区から5カ所の申請（下記一覧表参照）がありました。
これら申請地を、公募市民を含む二市の市民6人、有識者4人の計10人で組織する「広域一般廃棄物処理施設建設候補地選定委員会」により、候補地としての適性を審査しました。
7月16日、同委員会は、評価を取りまとめた「審査結果報告書」を、伊豆の国市伊豆市廃棄物処理施設組合設立準備会に提出。準備会は、報告書を基に選定を行った結果、5つの応募申請地のうち、3つの地区を建設候補地として一次選定しました。

応募のあった5つの申請地

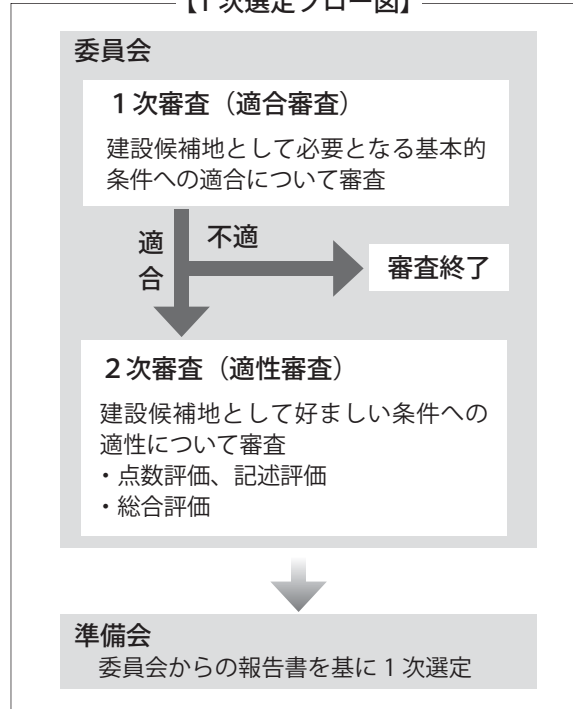
応募地区	所在地	面積
①北又区	伊豆市修善寺字藍原、藤ヶ平、高山、高野山内	約4.1ha
②大平区	伊豆市大平字深沢、上深沢内	約2.4ha
③佐野区	伊豆市佐野字川久保 地内	約1.3ha
④大平柿木区 (奥山)	伊豆市大平柿木字奥矢淵、久保、奥山、蛙子内	約6.5ha
⑤大平柿木区 (大野養魚場下)	伊豆市大平柿木字上大野、猪之田、芽積場内	約2.6ha

【位置図】



報告書を受け取る両市長

【1次選定フロー図】

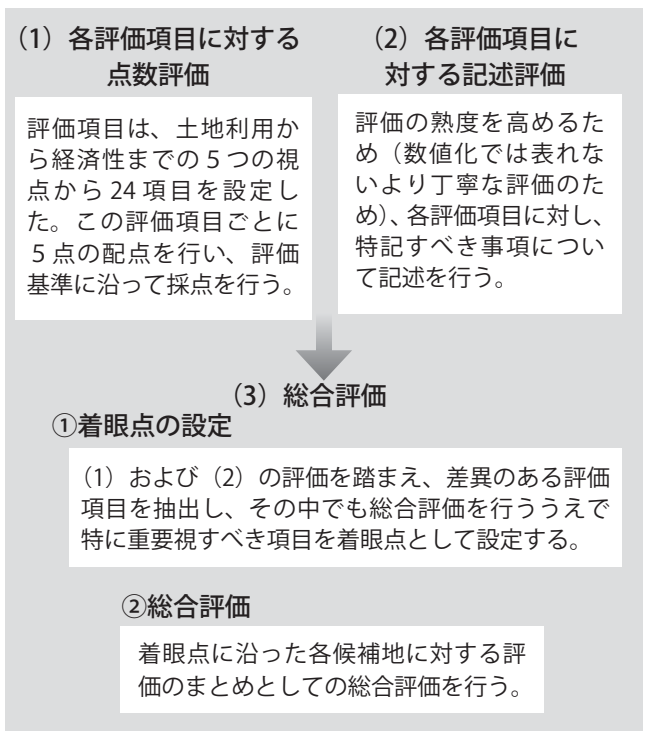


委員会による

審査の結果

ア. 1次審査
4地区5カ所すべての申請地が「適合」の判定となりました。

イ. 2次審査
「点数評価」「記述評価」の結果を踏まえ、安定稼働および経済性の視点を総合評価の着眼点とし、左のとおり評価を行いました。



準備会による

絞られた3つの候補地

広域一般廃棄物処理施設建設候補地選定委員会による審査結果を踏まえ、伊豆の国市伊豆市廃棄物処理施設組合設立準備会（行政）は、候補地の一次選定を行いました。
大平柿木区（奥山）と大平柿木区（大野養魚場下）の申請地は、安定稼働および経済性の両面において、他の申請地よりも課題が多く、建設地として好ましくないと判断されることから、建設候補地として断念しました。
よって、北又区、大平区、佐野区の3つの申請地を候補地として一次選定しました。

最終建設候補地選定

建設候補地の最終選定に向け、今後、北又区、大平区、佐野区の3地区とそれぞれ協議をしていきます。区民の合意形成の状況、用地取得の容易性、地区との協議内容などを踏まえ、最終選定を行います。

建設用地の決定

最終選定された地区と施設建設合意協定書の締結、土地所有者の皆さんと土地提供にかかる基本合意書の締結をさせていただきます。建設用地を決定します。

地区	内容
北又区	・安定稼働の面では、他の申請地と比較すると最も防災上の規制レベルは低く、軽微な安全対策により施設の安全は確保できると思われる。 ・経済性の面では、他の申請地と比較すると多少劣るため憂慮すべきである。
大平区	・安定稼働の面では、申請地の一部が防災上の規制区域となっているが、安全対策を施すことにより施設の安全は確保できると思われる。 ・経済性の面では、他の申請地と比較すると優れている。
佐野区	・安定稼働の面では、土砂災害に対する安全対策が必須となるが、対策工事の規模なども予測されていることから、これに見合った対策を施すことにより施設の安全は確保できると思われる。 ・経済性の面では、他の申請地と比較すると最も優れている。
大平柿木区 (奥山)	・安定稼働の面では、用地確保のため申請地を貫流する河川を付け替える必要があるが、当該河川を中心に土砂災害特別警戒区域の指定がされており、付け替え場所が、現在よりも更に市道や住宅に近接することとなるため、土砂災害に対する周辺住民の不安がより一層増すことが危惧される。また、河川の付け替えには河川管理者との協議や、付け替えに伴う影響調査などにも時間を要するため、早期建設にも支障があると思われる。 ・経済性の面では、他の申請地と比較すると最も劣るため好ましくない。
大平柿木区 (大野養魚場下)	・安定稼働の面では、当申請地周辺は谷地形であるため申請地内への流水の量が多く、造成に当たっては十分な調査と検証に基づく安全対策が必要となる。また、これら調査や検証には時間を要するため、早期建設にも支障があると思われる。 ・経済性の面では、他の申請地と比較すると劣るため憂慮すべきである。